

市政記者クラブ様

住宅都市局都市計画部交通企画課
担当：藤井、加藤（052-972-2743）

新たな路面公共交通システム（SRT）の導入に向けた試験走行について

都心における回遊性の向上や賑わいの拡大を図るため、新たな路面公共交通システムの導入に向け検討を進めるにあたり、下記のとおり、他都市で走行している通常のバスよりも大きい“連節バス”及び最先端の“燃料電池バス”の試験走行を行いますのでお知らせします。連節バスが名古屋市内を走行するのは初めてです。

記

1. 走行の概要

- (1) 日時 令和2年10月11日（日）13時頃～ 2時間程度
- (2) 走行経路 名古屋駅～栄（久屋大通公園）を周回

2. 連節バスの概要

今回走行を予定している連節バスは、岐阜駅から岐阜大学・岐阜大学病院などを結ぶ路線バスとして運行するメルセデス・ベンツ製の「清流ライナー」です。2台の車体が幌でつながる全長約18mの車両で、通常のバスの1.5倍の輸送力を誇ります。

連節バスは、東京オリンピック・パラリンピックを見据えて東京でも運行が開始されるなど、全国的に導入が進んでいます。



3. 燃料電池バスの概要

今回走行を予定している燃料電池バスは、トヨタ自動車株式会社が開発するSORAです。FCスタック内で電気化学反応により発電した電力でモーターを回して走るため、走行時はずっと静かで、二酸化炭素や窒素酸化物、浮遊粒子状物質を全く排出しない環境に優しい車両として今後普及が期待されています。

